



東海第2原発再稼働やめよと要請（取手からは、加増みつ子市議団長が参加、後列）＝16日、衆第2議員会館

## 東海第2原発 “再稼働認めるな！”

運転開始40年を迎える  
日本原電東海第2原発は廃止に  
党茨城県委など規制庁に要請

11月16日、日本共産党茨城県委員会と「県原発を考える会」は原子力規制委員会の事務方である原子力規制庁に対し、来年11月28日で運転開始40年を迎える日本原電東海第2原発について、再稼働をさせずに廃止すること、及び20年間延長の運転を認めないことを強く求める要請を行いました。同原発は、現在、運転延長に向けた特別点検を実施中。40年超の運転をする場合、11月28日までに規制委に申請する必要があります。今、再稼働されている原発は加圧水型炉で東海第2は事

故を起こした福島第1原発と同じ沸騰水型炉です。運転延長を申請すれば初となり影響は計り知れません。第2原発の周辺30キロ圏内の人口は96万人。事故の際の避難経路などはいまだ未定です。要請には日本共産党塩川鉄也衆院議員、梅村早江子前衆院議員、共産党茨城県議団、取手市議など市町村議が参加しました。

国政私物化 北朝鮮問題 暮らし 沖縄 憲法

## 安倍政治の転換を

NHK「日曜討論」

小池 晃書記局長語る

11月19日のNHK「日曜討論」で、特別国会での本格論戦を前に与野党9党代表が討論。日本共産党は小池書記局長が出席しました。

### 特別国会にどう臨むか

#### 首相疑惑を追及 改憲阻止へ共同

首相は、「森友・加計問題」を丁寧に説明すると言っていたが、所信表明で一言も触れず。徹底説明が必要だ。選挙が終わった途端に、介護・生活保護など、社会保障大改悪計画を打ち出した。全世代に対する改悪である。経済政策は大企業減税ではなく、国民の暮らし優先へと求め、しっかり議論する。辺野古新基地建設の強行や憲法9条改悪を許さないとの重要課題にとりくむ。

### 質問時間削減問題

#### 数の暴力やめてしっかり議論を

自民党は今特別国会で「森友、加計問題」を審議した衆院文部科学委員会をはじめ、野党の質問時間を削減させようと躍起になっています。小池議員は、野党に十分な質問時間を配慮するのは議院内閣制の根本であり、そのルールを壊すことは絶対に許さない。安倍首相は憲法53条に基づく野党の臨時国会要求を3カ月も無視し、9月にやっと開いた臨時国会も質疑なしで冒頭解散した。首相の本音は野党の追及を受けたくないからだ。野党の質問時間を削減するよう自民党に指示したのは安倍首相自身とのことだ。行政府（安倍）による立法府への介入であり、やってはならないことだ。と発言しました。



## 9条改憲NO！3000万署名 訴え

11月16日、安倍政権による憲法9条改悪を断固阻止しようと、日本共産党取手市委員会は取手駅西口前で「安倍9条改憲NO！3000万統一署名」を訴える街頭宣伝を行いました。

上野たかし県議、加増みつ子・小池えつ子両市議らがそれぞれ憲法9条に自衛隊を

明記することの危うさを訴えると、通行人が次々に足を止めて署名に応じてくれました。

寒風が吹く中、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」の横断幕、「安倍政治NO」とのプラスターを掲げ、署名行動を行いました。



上野たかし県議

## 県・決算委員会で取手競輪場の現状を取り上げ質問

### 入場者年々減少

総務企画部所管の平成28年度決算委員会で、取手競輪場問題を取り上げました。県からは「28年度の県の一般会計への競輪事業から繰り入れ額は2億円」との説明がありました。

そもそも、競輪はギャンブルであり、刑法では賭博（ギャンブル）を固く禁じてい

ます。ところが戦後復興のためとして例外的に認めてきたものを、戦後何十年もたった今なお、「財政に寄与している」などとして続けているものです。入場者は減り続けており、最高時昭和50年の年間116万人が平成28年には10万人です。

### 取手競輪廃止し “市民の憩いの場” へ

上野たかし県議は「公営ギャンブルの取手

競輪場は廃止し、取手市民や県民の声を聴き、県営の憩いの場などに転用すべき。多くの市民が活用できる場への転換を求めている」と求めました。

しかし県は「競輪の収益は県にとっても貴重な自主財源であり、経済活性化につながる施設と認識している。競輪場のイメージアップを図るため、楽しいイベントなどを考えていきたい」と答えました。





## 取手市主催

# 白山西小跡地利用住民説明会

グラウンド使わせて

楽しみ奪わないで

どこで決まったの

11 月 19 日、白山西小学校跡地利用について市の説明会が開かれました。関係住民や共産党の要求で開かれたもので、会場には約 100 名の方々が参加。「市は何も知らせてくれない。共産党のチラシで初めて知った」という人もいました。



取手市による白山西小跡地利用説明会に参加する市民＝19日、白山西小体育館

市の説明に対して「跡地の利用をなぜ議会にかけないのか」「早く知らせてほしかった」卒業生の保護者から「グラウンドで少年野球を楽しんでいた。その場を奪わないで」また「今回のやり方も野々井中の時と同じ、市民の声を聞くべきだ」等の声が上がりました。しかし取手市は、会場からの声を受け止めず、企業への売却・貸地という市の言い分を押し付けるものでした。共産党は12月議会で、住民不在の今回の進め方を正し、跡地を「売却・貸地」する市の方針撤回と、共産党実施のアンケートに寄せられた公共施設としての活用を求めます。

## （広報とりで11月号）H28 年度決算報告を読む

### その2

広報とりで11月1日号に平成28年度決算報告が掲載されました。市の説明は、5つの重点事業と一般会計の主な事業・決算額が記載されています。しかし...

### ●教育費 50億1,961万円

#### 【市の説明は】

市民会館改修、藤代公民館耐震補強・大規模工事、高井小の大規模工事を行い、山王・六郷・久賀小については統廃合計画を凍結し、耐震化に向けて実施設計に着手した。

#### 【日本共産党の提案は】

学校耐震化は学校統廃合計画により3年遅れの国方針の達成。子どもの安全後回しの行政は、教員不足多忙化の中で、いじめを生み出す要因にもつながるものです。放課後子どもクラブの児童がふえ、クラブ室は手狭で、職員不足です。本来の目的に立ち帰り、放課後児童クラブと子ども教室の分離、子どもたちが安心して過ごせる環境を求め、就学援助制度の拡充や学校給食無料化を求めます。

### ●商工費 4億3,893万円

固定資産税相当額を奨励費として充てる産業活動支援制度等で企業支援を行い、市内経済の拡大を図った(4,582万円)。

市内大企業へは固定資産税の減税など優遇策が行われるもと、市内零細中小企業には支援策がなく倒産や廃業が続いています。日本共産党は地元中小企業や商店に対する予算を抜本的に増やすこと。住宅・店舗リフォーム助成制度創設などで地場産業の振興こそ必要です。



18年度取手市予算要望する日本共産党取手市議団（右から）小池えつ子・関戸勇・加増みつ子・遠山ちえ子市議＝15日、取手市役所内で

市の来年度予算編成に向け、党市議団は市民から寄せられた要望をまとめ提出。要望は、市民のくらしと健康を守る医療・介護制度の充実、若い世代の定住化へ、安心できる子育て、生活基盤整備などが主なものです。市民ニーズのない大型開発への税金の無駄遣いやめ、税金はくらし優先にと求めています。国による社会保障費の削減が続くもと、民生費50%を確保し、市民福祉充実に取り組む東京都狛江市や埼玉県蕨市などに学び、取手の市民福祉向上への努力を求めました。

11月15日、共産党市議団は来年度市予算編成に向け7項目の重点要望と200項目に及ぶ要望を取手市長に提出しました。

来年度取手市予算編成に関する要望書提出

子育て安心、福祉のまち取手へ **日本共産党**

## 日本共産党市議会報告会



議会報告会で報告する上野たかし県議＝12日、藤代公民館で

11月12日、藤代公民館ホールで県・市議会報告会が行われました。藤代公民館を初めて使用した今回の議会報告会には市内各地から約80名が参加、市議・県議の報告に参加者からは、障がい者政策や財政等様々な質問がありました。プロジェクターを使用した議会報告会に「聞くだけでなく映像もありよくわかる議会報告だった」との声も寄せられました。市の財政投入が膨らむ桑

原や西口開発については「地価が下がり続ける中での区画整理事業に見通しはないのでは?」「競輪場（ギャンブル）廃止して、県民が使える施設がいい、例えば温泉を掘って楽しめる施設に」等の提案もありました。日本共産党は、税金の使い方を変えて、教育や福祉の充実、街の活性化や定住化促進など、実現に向け地域の声や想いを大事にみなさんと力を合わせていきます。

### 高田 健さん（総がかり行動共同代表）

戦争法廃止、安倍9条改憲NO!

### 総がかり行動の到達点を語る

12/8（金）

午後1時20分～取手福祉会館ホール

主催

戦争させない9条壊すな！総がかり取手行動実行委員会

○集会後、3000万署名の行動を取手駅前でおこないます。